

リテールマーケティング（販売士）検定試験の 科目体系等の変更について ＜参考資料＞

2026年2月
日本商工会議所

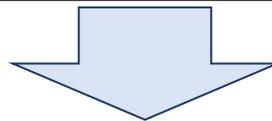
試験科目見直しの背景

＜受験者数の減少と小売・流通業を取り巻く情勢変化＞

- コロナ禍を経て、2021年度からネット試験に移行したが、受験者数はコロナ前（統一試験時代）と比較し6割程度で伸び悩む
- デジタル対応や人手不足・生産性向上への対応など、小売・流通業を取り巻く状況は急激に変化

＜試験制度に関する指摘＞

- 試験科目の数（5科目）が多く負担感がある
- 試験範囲が広く授業内での学習が困難
- 現在の科目体系になってから20年が経過しており、時代に合わせた見直しが必要
- 科目間で内容の重複が見られるため整理が必要
- SNSの活用、ネットショッピング、セルフレジ対応など最新動向を反映した公式ハンドブックの改訂が必要



今後も販売士制度を継続・発展させ、小売・流通業界をはじめとする産業人材の育成に資するものとするためには、時代に合わせた科目内容にすると共に、受験者の負担軽減・学習効率向上の観点から試験科目の整理・見直しが必要

主な変更点

(1) 科目体系の見直し

- 5科目から4科目に整理・再編（全級共通）
- 科目間の内容重複箇所の見直し

(2) 最新動向の反映

- 小売・流通業に係る最新動向の反映、デジタル対応の反映（SNSの活用、ネット販売、店舗の無人化等）、人手不足・生産性向上への対応

科目体系・科目名の見直し（1級～3級共通）

- 5科目にわたる科目体系について、学習・指導のしやすさ、過度な負担の軽減の観点から見直しを行い、以下の4科目に整理・再編。
- 「①小売業の類型」 ⇒ 「①流通概論」、
 「②マーチャンダイジング+③ストアオペレーション」
 ⇒ 「③マーチャンダイジング」
 「④マーケティング」 ⇒ 「②マーケティング」
 「⑤販売・経営管理」 ⇒ 「④リテールマネジメント」に、整理・再編。

【現行】5科目

- ①小売業の類型
- ②マーチャンダイジング
- ③ストアオペレーション
- ④マーケティング
- ⑤販売・経営管理

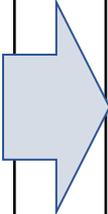
5科目
から
4科目
へ

【改訂後】4科目

- ①流通概論
- ②マーケティング
- ③マーチャンダイジング
- ④リテールマネジメント

配点・問題数等について

■科目数の変更（5→4科目）に伴い配点・問題数等を変更

現 行		改訂後	
配点・満点	1問5点 500点満点 (=1科目20問×5点×5科目)	1問4点 400点満点 (=1科目25問×4点×4科目)	
科目数	※①～⑤各科目 20問 計 100問 (=20問×5科目) 【1級】 記述式穴埋： 10問×5科目=50問 択一式穴埋： 10問×5科目=50問 【2級、3級】 正誤問題： 10問×5科目=50問 択一式穴埋問題： 10問×5科目=50問	※①～④各科目 25問 計 100問(=25問×4科目) 【1級】 記述式穴埋： 12問×4科目=48問 択一式穴埋： 13問×4科目=52問 【2級、3級】 正誤問題： 13問×4科目=52問 択一式穴埋問題： 12問×4科目=48問	
試験科目	①小売業の類型 ②マーチャндаイジング ③ストアオペレーション ④マーケティング ⑤販売・経営管理	①流通概論 ②マーケティング ③マーチャндаイジング ④リテールマネジメント	

※試験方式（ネット試験方式（CBT方式））、試験時間（1級90分、2級70分、3級60分）、合格基準（2級・3級/平均70点以上+科目毎の得点が50点以上、1級/各科目70点以上）変更なし。

変更のスケジュール

- 科目体系を見直し、最新動向を反映した新ハンドブックについては、2026年度から2028年度までの3年間に、3級→2級→1級の順で1年ごとに発刊予定。
- 新ハンドブックの内容に則った試験は、各級ハンドブック発刊後、周知・学習期間を設けたうえ、2027年度から2029年度までの3年間に、3級→2級→1級の順で実施。
- 3級において、現行ハンドブックからの出題は2027年6月までの予定。
(以降、2級・1級も1年ごとに同様のスケジュール)

級	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
3級	ハンドブック改訂版発刊 (2027年2月予定)	新体系試験実施 (2027年7月～予定)		
2級		ハンドブック改訂版発刊 (2028年2月予定)		
1級			ハンドブック改訂版発刊 (2029年2月予定)	新体系試験実施 (2029年7月～予定)

科目免除制度・科目合格制度について

級	免除制度		対象講座等 [変更なし]
	現 行	改訂後	
1 級	科目合格制度 (1科目毎に70点以上) ※科目合格制度の注意点 (P7参照)	科目合格制度 (1科目毎に70点以上) ※科目合格制度の注意点 (P7参照)	
2 級	科目免除制度 ※「 <u>販売・経営管理</u> 」 (1科目)の免除	科目免除制度 ※「 <u>リテールマネジメント</u> 」 (1科目)の免除	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2級販売士養成講習会 (各学校・企業等) ・ 2級養成通信教育講座 (公開経営指導協会、日本販売士協会)
3 級	科目免除制度 ①「 <u>販売・経営管理</u> 」 (1科目)の免除 ②「 <u>マーケティング</u> 」 (1科目)の免除 ③「 <u>販売・経営管理</u> 」、 「 <u>マーケティング</u> 」 (2科目)の免除	科目免除制度 ①「 <u>リテールマネジメント</u> 」 (1科目)の免除 ②「 <u>マーケティング</u> 」 (1科目)の免除 ③「 <u>リテールマネジメント</u> 」、 「 <u>マーケティング</u> 」 (2科目)の免除	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3級販売士養成講習会 (各学校・企業等) …① ・ 3級養成通信教育講座 (公開経営指導協会、日本販売士協会) …① ・ 商業経済検定試験 (商業高校) …②、③

※【1級科目合格制度】2028年度～新体系移行期における注意点

- 現行（5科目）の試験において、「小売業の類型」の科目合格をしている場合は、新体系（4科目）の試験において、「流通概論」の科目合格が適用されます。
- 現行（5科目）の試験において、2028年4月～2029年6月の間で「マーチャンドライジング」と「ストアオペレーション」の両方に科目合格をしている場合は、新体系（4科目）の試験において、「マーチャンドライジング」の科目合格が適用されます。
※2028年4月～2029年6月の間に「マーチャンドライジング」もしくは「ストアオペレーション」のどちらか1科目しか科目合格をしていない場合は、2029年7月以降の新体系（4科目）の試験において「マーチャンドライジング」の科目合格制度は利用できませんのでご注意ください。
- 現行（5科目）の試験において、「マーケティング」の科目合格をしている場合は、新体系（4科目）の試験において、「マーケティング」の科目合格が適用されます。
- 現行（5科目）の試験において、「販売・経営管理」の科目合格をしている場合は、新体系（4科目）の試験において、「リテールマネジメント」の科目合格が適用されます。

※科目合格の有効期限は、科目合格をした受験日の属する年度の翌年度末までとなります（現行の有効期限から変更ありません）。